

日 時：令和元年10月24日（木）15:15～15:55

場 所：選択B教室

司会者：森元 弘毅

記録者：畠山 瑠美子

1 指導・助言の先生の紹介・・・高校教育課指導主事 櫻田瑞子先生

2 授業者（牛丸僚子先生）から

非常に元気のあるクラスである。今日は普段あてない生徒にもあてた。日頃は深い読み取りまでなかなかいかないところがあるが、本時は意図するところまではいったと思う。

3 グループ協議報告

Aグループ（笠原先生〔司会〕、工藤先生、関屋先生、秋山先生）、発表：関屋先生

①「根拠を明確にして説明させる場面の設定」について

- ・3×3グループに分けての発表であった。多くの意見を効率的に聴くのに非常に良かった。
- ・クラゲチャートによって意見の比較がしやすくて良かった。
- ・漢文を使うということ自体、根拠になる部分が決まっており、深まりという点では難しかった。
- ・クラゲチャートの頭と足がつながっていない。足の部分に根拠を出し、頭が理想の君主像という構図になれば良かったのではないか。

②「主体的で深い学び」について

- ・クラゲチャート、ふり返りのワークシートが工夫されていて効果的なフォーマットであった。

③「その他」について

- ・各グループの司会を決める、時間を管理する、聴くときの姿勢を指導する。
- ・黒板の使い方の工夫。例えばスピーチの手順等があっても良かった。

Bグループ（宇佐美先生〔司会〕、畠山先生、三浦先生、小野寺先生）、発表：小野寺先生

①「根拠を明確にして説明させる場面の設定」について

- ・生徒が根拠を述べて説明する流れが作られていた。
- ・クラゲチャートが効果的で、深い学びにつながっていた。

②「主体的で深い学び」について

- ・先生の分かりやすい指示で、生徒が積極的にいい雰囲気ですべて授業に取り組んでいた。
- ・結論の出し方をどうすべきかを考える必要がある。
- ・生徒の発表の中に、現代のリーダー像とリンクさせたものが出ており、素晴らしかった。
- ・発表生徒を選ぶ基準について、生徒に示す必要がある。

③「その他」について

- ・クラゲチャートが黒板に貼られた時に、見えづらくなっているため、教具の使い方に工夫が必要。

4 指導助言 櫻田瑞子指導主事より

今日の授業は見ていて非常に楽しかった。生徒も先生も楽しいというのは、一番大切なこと。教室が一体となって漢文を楽しんだ一時間であった。

[良かった点1] 「見通しを持った単元」ということについて

- ・まとめの時間の本時まで綿密に計画されている。
- ・本時もスムーズな展開で、最後のふり返りまで到達している。
- ・生徒につけたい力が明確である。
- ・効果的思考ツール（＝クラゲチャート）を用いている。ただし、頭と脚が繋がらない部分は、今後の改善が必要。
- ・考察の深まりのためにふさわしい効果的なワークシートである。個人の深まりには、さらに工夫が必要。

[良かった点2] 「対話的な学び」について

- ・対話的な学びが出来ている。自分との対話、他者との対話が出来ており、考えの違う相手の意見を受け止めている。
- ・みんな顔をあげて相手の意見を聞いており、日頃の指導の様子がよく見える。
- ・「聴く力」が素晴らしいので、「話す力」については、話し方、話す手順を示すことで、訓練されて力が身についていくのではないかと。

[改善点] 「根拠」について

- ・根拠を明確にして述べるという点を強調すれば良い。
- ・生徒が意見を選ぶ際は、評価の根拠が必要なので、「こうゆうものもいい答えなので、こうゆうものを選んでください」という指示があれば良い。

学び合う授業が成立していたということで、一ヶ月課題と本校の目標が意識された授業であった。研究授業をしていただき、それを我々が見て改善点を話し合うことが、さらなる授業改善につながっていく。今日は充実した研究授業、協議会に参加させていただいた。

